

# 令和4年度に提案された技術

番号	技術の名称	技術の概要	提案者	掲載
RO4C-1-1	新形状のPCaボックスカルバート「角丸カルバート」	本製品は、ボックスカルバートの隅角部を直角形状から円弧状にすることにより、発生する曲げモーメントを低減させることを可能とし、鉄筋量の低減と配置手間の低減を可能としました。これによりカルバート部材の省力化が図れます。	千葉窯業(株)	P1
RO4C-1-2	多数アンカー式補強土壁工法 「アンカープレートを用い、広範囲の建設発生土に対応できる補強土壁工法」	多数アンカー式補強土壁工法は、コンクリート製壁面材と盛土内に数多く配置したアンカープレートとをタイバーで緊結し、アンカープレート群の支圧抵抗によって壁面材との間の盛土材料を拘束補強し、安定を保つ土構造物である。従来のテールアルメ工法とは異なる補強メカニズムであり、補強材長を短くできるほか盛土材の適用範囲が広くなったため、経済性に優れた補強土壁工法である。	多数アンカー式補強土壁協会	—
RO4C-1-3	立体視覚による分離方法 「平面画像の立体認識技術・製品による違法駐停車等交通対策」	ラバーポール等の立体認識画像シートを貼付することにより人車両分離や注意喚起を発揮する技術で、従来はラバーポールを設置していた。本技術の活用によりラバーポール設置による破損がなく品質の向上・経済性の向上が期待できる。	(株)一心助け	P2
RO4C-1-4	雨水貯留施設の高機能化を実現 「ハイブリッド雨水貯留システム」	ハイブリッド雨水貯留システムは、雨水貯留施設の高機能化を実現するシステムである。近年の降雨量の増加により、雨水貯留施設の容量不足が問題となり、雨水貯留施設内への夾雑物の堆積や流出抑制機能の不具合は雨水貯留施設の機能を低下させ、さらに浸水被害を深刻にしている。ハイブリッド雨水貯留システムは、雨水貯留施設への夾雑物の侵入を防ぐ「ココフィルター」、そして雨水貯留施設からの流出をコントロールする「ボルテックスバルブ」を活用したハイブリッド雨水貯留システムである。また流域治水関連法が施行され「特定都市河川浸水被害対策法」と連動した「雨水管理総合計画策定ガイドライン」が改訂、ハイブリッド雨水貯留システムは、その浸水対策事業にも貢献できるシステムである。	ベルテクス(株)	—
RO4C-1-5	可とう性重圧管 「可とう性暗渠排水管」	本製品は、道路横断部、縦断部などに使用される管継手部の可とう性能に優れた鉄筋コンクリート製暗渠型排水管です。本体は高耐久性のため、浅い土被りからの施工が可能であり、特殊ゴムリングの使用により耐震性や止水性に優れている。	日本興業(株)	P3
RO4C-2-1	高所法面掘削機による掘削工法 「ロッククライミングマシーン(RCM)による掘削工法」	従来機械では届かない高所法面の工事は、主に人力に頼る工法で行われてありますが、1日の施工量も限られ、地盤の崩壊や落石といった危険が常に伴います。そんな高所法面の工事をロッククライミングマシーン(RCM)による機械化施工する事により、高所法面作業における安全性の向上、工期短縮、省力化を実現しました。	高所機械施工協会	P4
RO4C-2-2	アクアマリンタックレス凜 「リベット構造型水性硬質塗料 (皮脂軟化対策塗料)」	手摺やドアなどの手がよく触れる場所では、皮脂などが付着し、塗膜が軟化・摩耗していく「皮脂軟化現象」が多く見られます。また、このような場所には従来SOP(合成樹脂調合ペイント)がよく塗装されており、黄変やホルムアルデヒド放散などが問題となっていました。これら諸問題を解決すべく「アクアマリンタックレス凜」が開発されました。アクアマリンタックレス凜は、水性1液塗料でありながら耐皮脂軟化性に優れ、種々の付加価値機能を有する“ポストSOP塗料”です。	大日本塗料(株)	P5

# 令和4年度に提案された技術

番号	技術の名称	技術の概要	提案者	掲載
RO4C-2-3	ノボクリーンシリーズ 「室内環境対応形水系塗装（シックハウス症候群対応塗料）」	水性塗料は水道水で希釈するため、一般的には人と環境に優しい塗料であると言えますが、種々の化学物質に敏感な方はシックハウス症候群を発症してしまうことがあります。このシックハウス症候群対策として開発されたのが「ノボクリーンシリーズ」です。ノボクリーンシリーズは、国内で初めて有機溶剤ゼロを実現した安心・安全な水性塗料であり、においが少ないだけでなく、汚れ防止や防かび、抗菌、消臭といった付加価値機能を塗装面に付与することもできます。	大日本塗料(株)	P6
RO4C-2-4	RCプレキャスト部材組立式雨水貯留施設 「M. V. P. システム」	M.V.P.システムは、門型部材とスラブ部材を組み合わせ、底面部をインバート構造にすることで、集泥機能を有し、（財）土木研究センター建設技術審査証明を取得した地下に構築される雨水貯留システムです。	ベルテクス(株)	—
RO4C-2-5	JSドレーン工法 「縦型雨水浸透施設スティックフィルター」	透水シートを内包する縦型浸透管（外径Φ100mm 内径Φ85mm）を地中に埋設して縦型の雨水浸透施設を構築する技術となる。縦型に設置するので高い設計水頭を確保することが可能で、雨水浸透施設の省スペース化が可能である。	城東リプロン(株)	P7
RO4C-2-6	ハイドロスタッフ工法 「プラスチック製雨水貯留浸透施設 ハイドロスタッフ工法」	ハイドロスタッフ工法は、プラスチック製のユニット材（小ブロック）を組み立て、それを遮水シートや透水シートで包むことで、空隙率の高い地下貯留空間を形成する工法です。ユニット材は軽量で接合部材を必要としないため施工が容易で、コストも縮減されます。 「ハイドロスタッフ」は、今後の社会インフラの整備において、豪雨災害対策と同時に雨水との共生を目指しており、水循環の健全化、地球温暖化の防止等地球規模の環境改善に役立つ工法です。	城東リプロン(株)	P8
RO4C-2-7	フラットキーパー 「目違い修正具」	・型枠の軸体精度をより正確にするために考えた目違い修正具フラットキーパーです。 ・コンクリートが固まったあとでの目違いを埋める補修工事が要らずコスト、時間の無駄を省く事が出来ます。	中館工業(株)	P9
RO4C-2-8	クイックデッキ 「先行床施工式フロア型システム 吊足場」	高強度チェーンで剛性のある床を吊る技術です。これまでにないチェーンピッチと無段差無隙間の床を実現することで、橋梁の桁下、建築物の天井下等に仮設の作業フロアを構築します。旋回式の組立・解体で安全な架設・撤去が可能かつ無隙間な床を作ることで、クイックデッキの下の空間を活用することが可能で、橋梁の新設工事や補修・補強工事、工場などの大空間建築物、ビルやショッピングセンターなどの天井仕上げ・補修工事などで活用できます。	日綜産業(株)	P10

## 令和4年度に提案された技術

番号	技術の名称	技術の概要	提案者	掲載
RO4C-2-9	法面作業構台マルチアングル工法 「法面構台用ユニット足場」	法面作業構台「マルチアングル工法」はアンカー工事やボーリング工事での削孔機などを設置する機械構台や、乗り入れ構台用として使用する足場です。本製品は当社が開発しましたクサビ式足場支保工のニッソー3Sシステムの利点を活用し、これまで単管+クランプで手間と時間をかけて製作していました構台足場を、より簡単で安全に施工・盛替えできるようにした製品です。また法面は、様々な材質（コンクリート・土質など）ですので、現場によって強度計算や図面が変わってきますので、当製品は接地部に(1)打ち込みタイプ(2)角度自在タイプ(3)フラットタイプを用意し、様々な現場に柔軟に対応しています。2022年10月にNETIS(KT-160136-VE)活用促進技術に指定され、ますます活用の幅が広くなっています。	日綜産業(株)	P11

# 令和2年度に提案された技術

番号	技術の名称	技術の概要	提案者	掲載
RO2C-1-1	上下分割式 自転車道対応自由勾配側溝 「分割サイクル側溝」	本製品は、国土交通省「安全で快適な自転車利用環境創出ガイドライン」に準拠し、エプロン幅を120mmに短縮し、自転車レーン・道路幅を拡幅する側溝です。これを上部の門型と下部のU型に分割した自由勾配構造にし、フルオープンになった開口部によりインバート工作業の省力化を図ったものです。	共栄建材工業(株)	—
RO2C-1-2	急結性・高性能硬質発泡ウレタンによる裏込注入工法 「セットフォーム工法」	本工法は、既設トンネルの補修工事において覆工コンクリート背面に生じる空隙を硬質発泡ウレタンによって充填する裏込注入工法である。従来の可塑性エアモルタル注入工法は強度発現に時間がかかるため、水の存在下で分離、流出、消泡などの問題があり、これらを解決するために瞬結性の硬質ウレタンを注入するセットフォーム工法が開発された。40倍発泡品の開発により更なる注入時間の短縮と材料費の低減を可能にした。	日清紡ケミカル(株)	P 12
RO2C-1-3	長寿命コンクリート 「L-Lコンクリート」	本製品は、結合材に70%を超える高炉スラグ微粉末を配合したコンクリートです。高炉スラグの特性から化学抵抗性、水密性や長期強度の向上によって、耐久性に優れた長寿命コンクリートとなります。また高炉スラグは、溶鉱炉で銑鉄を生産する際に生成される副産物なので、その利用により、環境負荷の低減に寄与するエコなコンクリートです。	ゼニス羽田(株)	P 12
RO2C-1-4	道路土工擁壁工指針(平成24年度版) 適合L型擁壁 「CLP-Ⅲ」	本製品は、「道路土工 拥壁工指針（平成24年度版）」に適合する、数少ないプレキャストL型擁壁です。	千葉窯業(株)	—
RO2C-1-5	円筒ブロック擁壁 「石垣PB(曲面擁壁)」	本製品は、円筒ブロック、円筒ブロックの横連結材・上下連結材、中詰め碎石からなる基本タイプと基本タイプに控え板、控え板の連結治具を取り付け控長を長くした控え板タイプの2種類の擁壁構造を備えている。	(株)トッコン	—
RO2C-2-1	高輝度蓄光製品 「アベイラス アルシオールシリーズ」	本製品は、自然光や照明光を吸収し、夜間、暗所で自発光する高輝度蓄光製品である。本技術の活用により、震災など夜間の停電時でも夜間の屋外や暗所での案内及び避難誘導標示、階段段差等危険箇所の視認性が良くなり安全性が向上する。	(株)ドペル	P 13
RO2C-2-2	高硬度防滑床製品 「アベイラス アンプロップ」	本製品は、極めて優れた防滑機能が歩行者の安全確保と、滑りによる転倒事故を未然に防ぎ、施主や施設管理者の損害賠償リスクを大幅に軽減する防滑床材である。極めて耐久性が高く、駅などの重歩行箇所においても長期間に渡り防滑性能を維持する。	(株)ドペル	P 13
RO1C-2-3	減勢効果のあるらせん状水路と維持管理を容易にする昇降階段を一体化した組立マンホール 「落差マンホール」	本製品は、流入・流出管の落差により発生する水の落下エネルギーを、らせん状水路を有したプレキャストコンクリート部材により回転させながら減勢させる、内空サイズΦ1500・Φ2000・Φ2400・Φ2800の4種を規格化した組立マンホールである。	ゼニス羽田(株)	—
RO2C-2-4	紫外線硬化型FRPシート 「e-シート」	本工法は、紫外線硬化型FRPシートによる鋼構造物の鋼板部補修工法で、従来は鉄板溶接による補修で対応していた。本技術の活用により、高い防錆性を有するFRPシートを補修材料として使用することで、溶接作業が不要となるため、コストの縮減、品質の向上、工期の短縮が図れる。	サンコーテクノ(株)	P 14

# 令和元年度に提案された技術

番号	技術の名称	技術の概要	提案者	掲載
RO1C-1-1	高い中性化抑制をもつ、コンクリート表面含浸材「セラグシタールPRO」	含浸材塗布の1工程ですみ、散水養生等も不要と施工性が非常に高く、かつ、安価に施工できる。本材料は、完全無機ガラス材料なので、改質効果は長期にわたり持続する。新設コンクリートだけでなく、既設コンクリートへの施工も可能であり、本材料による表層部緻密化は予防保全や補修工事にも効果的である。	(有)タートル	P 14
RO1C-1-2	渦流制御式流出量抑制装置 「ボルテックスバルブ」	本製品は、雨水貯留施設等の流出口に装着される流量制御装置である。取水口から渦流形成室に進入した水流は、取水側の水位が一定以上になると旋回して渦流となり、発生した渦流の中心には柱状の空気核（エアシャフト）が形成され、この空気柱が流出口の有効断面を減じ、流出量が抑制される。電力を必要とせず、雨水貯留施設の容量低減や貯留機能の向上が可能となる。	ゼニス羽田(株)	—
RO1C-1-3	集水能力および安全性を向上させたコンクリート蓋 「FX側溝 スリット蓋」	本製品は、道路側溝用コンクリート蓋の手掛け部分を、センタースリット及びサイドスリットに変えることにより集水能力が向上し、センタースリットを10mmにすることにより車椅子・ベビーカーの車輪幅に配慮した形状としている。	関東FX工業会	P 15
RO1C-1-4	拡幅鋼製地覆 「ブリッジプラスα (歩道タイプ)」	本製品は、工場で製造した橋梁拡幅用鋼製地覆であり、歩道幅員を1m以上拡幅することが可能である。橋梁本体に補強が必要なため、コスト縮減が図れ、工場製品のため品質が確保でき、現場作業日数が少ないため工期の短縮が図れる。	(株)シラヤマ	P 15
RO1C-2-1	上下分割式 偏芯自由勾配側溝 「分割偏芯Cドレーン」	本製品は、従来の門型で底無しの自由勾配側溝を、上部の門型と下部のU型に分割した構造にし、フルオープンになった開口部からインバートコンクリートの墨打ち、打設、均し、左官仕上げ等を行い、作業の省力化等を図った上下分割式の自由勾配側溝である。	共栄建材工業(株)	—
RO1C-2-2	環境配慮型型枠 「カタパネル」	コンクリート型枠の多くは、南洋材の合板で作られ、3~5回程度転用後に産業廃棄物として処分されていたが、本製品は転用性に優れており、転用することにより工事現場での合板の産業廃棄物発生を抑制する。従来の素材の型枠と比べ、軽い・錆びない・腐らない・アクが出ない・ササクレがない・光を通すなど様々なメリットを有する。	天馬(株)	P 16
RO1C-2-3	雨水貯留ハイブリット式災害時用トイレ「レスキュート」	大容量の便槽と雨水貯水槽を併設することで、機能性に優れ快適なトイレ環境を長期間保てる、オールインワン型の災害時用トイレシステムである。便槽の排出口は開閉式ゲートのため、下水道が崩壊又は行政からの使用停止が発令された場合でも排出口が密閉できるため、大容量の貯留槽に溜めることができ、ライフラインが復旧されるまでの期間継続して使用が可能となる。	ゼニス羽田(株)	P 16

# 平成30年度に提案された技術

番号	技術の名称	技術の概要	提案者	掲載
H30C-1-1	超高強度繊維補強コンクリート製品「ダクタル」	セメントに特殊繊維（鋼、有機）を加えることで、薄肉・軽量で高強度・高耐曲げの製品を得ることが可能であり、緻密な組織構成となることから透水（気）係数が非常に小さく塩害・凍結融解の耐久性に優れた長寿命材料として、補修が必要な期間を延長することができる製品。	共和コンクリート工業(株)	—
H30C-1-2	石膏系中性固化材「エコハードAⅡ」	従来の石灰やセメント系固化材と異なり、泥土のpHに影響を与えることなく中性域（排水基準：pH5.8～8.6）のまま、短時間（30分～2時間程度）で固化処理できる「環境にやさしい」土質改良材である。	チヨダワー(株)	P17
H30C-1-3	高耐候性木材保護塗料「ファインクリスルウッド+ファインクリスルコート forWOOD」	完全無機ガラスの木材への塗布により、紫外線を遮断し、吸放湿性を妨げることなく、超撥水性、防汚性、高耐久性を付加することが可能となり、従来の塗装に比べ定期的な再塗装の維持管理コストが大幅に削減する製品。	亀村木材(株)	P17
H30C-1-4	既設道路橋用ゴム製排水装置「BBドレーン」	既設コンクリート橋の主桁や下部構造及び支承の腐食の原因となる伸縮装置部からの漏水を伸縮装置の下側で受け、桁側面へ排水する装置である。設置が容易であるため、伸縮装置の交換及び交通規制を行うことなく設置が可能。	(株)ビー・ビー・エム	—
H30C-1-5	水硬性スラグコンパクション材料「エコガイアストン®（摩擦タイプ）」	砂地盤の液状化対策工法であるサンドコンパクションパイル工法において、天然砂の代替材料として、製鋼スラグ単体または、製鋼スラグに高炉徐冷スラグもしくは水碎スラグを質量混合比で50%以下の範囲で混合して製造された、地球環境に優しく、建設コスト低減に貢献できる副産物活用製品。	新日鐵住金(株)	—
H30C-1-6	鋼製排水溝「ガッタースクリーン・マッドレイド」	本製品は、流水部に仕切りを設けることにより、流速を早くして土砂等が堆積しにくくなり、排水機能の低下が生じにくくなる鋼製排水溝である。そのため、メンテナンスのためのコスト削減が可能。	(株)シラヤマ	—
H30C-2-1	多孔質天然石を活用した修景パネル「ビオフィルムHKタイプ」	基板の繊維強化セメント板に天然石を一体化した軽量で薄型の環境修景パネルで、多孔質天然石を活用することにより、明度や色彩を抑えられ周辺環境との調和を図ることができ、透水性・通気性・保水性に優れるため、動植物の生息・生育に必要な環境を確保することができる。	共和コンクリート工業(株)	—
H30C-2-2	人工軽量盛土「カルグリ・カルグリG」	カルグリシリーズは、膨張性頁岩を約1,100°Cで燃成、発泡させた人工軽量盛土である。嵩密度が約1.1-1.2t/m3と軽くかつ水に浮かず、内部摩擦角も40-43度以上が得られる材料である。主原料は千葉県内産の頁岩を使用し、副原料の一部も千葉県内の上下水道の脱水汚泥を活用している、環境配慮型のリサイクル材料である。	日本メサライト工業(株)	P18

# 平成29年度に提案された技術

番号	技術の名称	技術の概要	提案者	掲載
H29C-1-1	プレキャスト製パネルによる 鋼(管)矢板の修景及び被覆 「オールガードパネル」	主に河川・海岸の鋼管杭や鋼矢板の現場打被覆工は木製、鋼製の型枠であったが、本製品は型枠として使用するとともに本体の一部として躯体に残置でき、工期の短縮及び施工性の向上を図れる。	共和コンクリート 工業(株)	P 18
H29C-1-2	プレキャストコンクリート製 残置型枠 「残置型枠ブロック」	主に港湾・漁港の既設岸壁で従来は鋼製型枠を海中に設置し水中コンクリートを打設していたが、本製品は鋼製型枠代替えで使用し躯体の一部として残置でき、工期の短縮及び施工性の向上を図れる。	共和コンクリート 工業(株)	—
H29C-1-3	軟弱地盤改良用石灰系粒度調整材 「ジオタイマー®」	軟弱地盤改良材「ジオタイマー®」は鉄鋼スラグを原料とした石灰系粒度調整材であり、粒状材料のため施工性が良く粉塵がたたない、バラ材で運搬・保管が出来るので取り扱いが容易である。	新日鐵住金(株)	—
H29C-1-4	さび面補修材 「スーパーさびコートⅡ」	塗料中のさび抑制剤が鋼材(鉄)のアノード溶解を抑制する効果を有し、鋼材腐食を防ぐ機能を有している。本塗料は、塗替え塗装に必要な旧塗膜適性を有しており、塗替え期間の延長が図れる。	神東塗料(株)	P 19
H29C-1-5	コンクリートの内面に溝を切削する 内面溝切装置 「スプリングビット工法」	あと施工アンカーのコア穿孔が既設構造物の鉄筋と干渉した場合に、穿孔内壁に凸凹を施すことでの高密着させ、短い定着長(例15D→8D程度)でも引抜き強度を確保する工法。	田中ダイヤ工業(株)	—
H29C-2-1	岸壁・物揚場用型枠ブロック 「ロックブロック」	従来の現場打ちでは型枠の設置・撤去等に潜水作業員で対応していたが、躯体部分を陸上で組み立て重機で海中に設置することで潜水作業日数を大幅に低減できる。	共和コンクリート 工業(株)	—
H29C-2-2	「波返し直立堤プレキャスト化 ブロック」	従来は現場打ちコンクリート等で対応していた海岸・河口の波返し護岸直立堤を、大型ブロックを積上げることで、直立堤本体工を築造できる。	共和コンクリート 工業(株)	P 19
H29C-2-3	転炉系製鋼スラグを用いた 浚渫土の土質改良 「カルシア改質土」	港湾工事等で発生する軟弱な浚渫土(泥土)を、カルシア改質材(転炉系製鋼スラグに成分管理と粒度調整を施した材料)を混合し、強度増進効果・濁り抑制効果・海域底質浄化効果等を付与した土質材料。	新日鐵住金(株)	—
H29C-2-4	コンクリートはつり機 「スピキハンマー」	ダムや橋脚、水路等のコンクリート表面等の処理用に従来のブレーカーとは違い、コンクリートを破碎するのではなく、目粗し或いはチッピング等を行うため開発した技術。	栗田鑿岩機(株)	P 20
H29C-2-5	耐塩害コンクリート製品 「ハイグレコン®」	塩化物イオン浸透抵抗や凍結融解抵抗に優れた性能をかつ高い曲げ強度を有しひび割れ抵抗性に優れたコンクリート製品で、従来に対し、塩害、凍害や中性化等に対する耐久性に優れる。	千葉窯業(株)	—

# 平成28年度に提案された技術

番号	技術の名称	技術の概要	提案者	掲載
H28C-1-1	自立式擁壁工法 「フーチング レス・パリ工法」	自立式擁壁工法でフーチング(底版)が無い構造のため、施工時の自由度が高く工期短縮に繋がり、発生土が抑制できるため環境にも配慮した工法。	(株)コクヨー	—
H28C-1-2	L型擁壁 「フェンス穴付L型擁壁」	L型擁壁と基礎ブロックを一体化することにより施工性が向上。オリジナル型枠を使用することにより道路勾配にあわせた製品が供給できるため、品質向上にもつながる製品。	カイエーコンクリート(株)	—
H28C-1-3	スリット側溝 「フロンティア側溝」	L型縁塊と側溝を一体化することによりコスト縮減を図るとともに、エプロン幅を狭くし、スリット排水溝を用いることにより自転車走行時の安全性にも配慮している製品。	カイエーコンクリート(株)	—
H28C-1-4	無機質ガラスコーティング材 「ナノグラスコート」	無機ガラス質の被膜で対象物をコーティングすることにより素材の耐久性を向上させ、長寿命化に寄与する。また落書き等の汚れから素地を守り環境にも配慮した材料。	ナノ・グラス・コート・ジャパン(株)	—
H28C-1-5	法面保護工 「マルチスプレッド工法」	現場で発生する伐採材や伐根材を一次破碎したウッドチップを利用し、法面の緑化を行う環境に配慮した、発生材を現場で使用するため循環型社会の形成とゼロ・ミッションを実現した工法。	(株)タック	—
H28C-1-6	濁水抑制用簡易フィルター 「ウッドチップフィルター」	ウッドチップに土粒子が吸着する効果を利用し、現場から発生する濁水を緩和(環境配慮)するためのフィルター等として使用。発生材利用のためコスト縮減にも繋がる製品。	(株)タック	—
H28C-1-7	「アスファルトカッター用可動式防音パネル」	アスファルト舗装版を切断する際に発生する騒音を軽減する環境に配慮した防音パネルで、軽量でコンパクトに折り畳み可能な製品。	京葉ガス(株)	—
H28C-2-1	「斜角門形カルバート」	小スパンの橋梁架け替えに適し、交差角を任意に設定でき、使用するカルバートの本数と用地を最小限に抑えることが可能。また二次製品であるため短期間での設置が可能で施工性に優れた製品。	共和コンクリート工業(株)	—
H28C-2-2	アルミ合金押出し材を用いた防食性能に優れた橋梁検査路 「KERO(ケーロ)」	防食性能に優れたアルミ合金押出し材を使用した橋梁用点検通路で、重量が従来製品と比較し軽量なため既存構造物への負担を少なく抑えることができる。またアルミ製のため防食性能が大幅に向上し、ライフサイクルコストの低減が図れる製品。	(株)横河ブリッジ	—
H28C-2-3	桁下面を塞ぐアルミ合金製の常設作業足場パネル 「cusa(キュウサ)」	パネル上を自由に歩けるため桁間を隅々まで点検することが可能。また気密性を確保した敷設をすれば主構造への劣化因子(飛来塩分等)の進入・付着を防止でき、塗装塗替費などのライフサイクルコストの低減が期待できる製品。	(株)横河ブリッジ	—
H28C-2-4	難燃性ガラス系塗料 「ブルーグラス」	木材塗装面を難燃化する技術で、併せて保護塗装の効果もあるため、ライフサイクルコストの低減が期待出来る。また工場での薬液注入による従来工法よりローコスト、且つ既設施設への施工も可能な技術。	亀村木材(株)	—
H28C-2-5	管路曲り測定装置 「ネモナビ」	ジャイロを用いた全方位対応可能な小口径管路の曲り測定装置で、鉛直方向だけではなく水平方向や斜方向にも対応可能なため、様々な用途に適用することが可能な技術。	根本企画工業(株)	—
H28C-2-6	鉄鋼スラグ水和固化体製ブロック、人工石材 「フェロフォーム®」	結合材に高炉セメントの原料である高炉スラグ微粉末、骨材に製錬スラグ、混合剤にフライアッシュ等の産業副産物を活用したセメントコンクリート代替技術。	JFEスチール(株)	—
H28C-2-7	鉄鋼スラグを用いた簡易舗装材 「カタマ®SP」	鉄鋼スラグ特有の潜在水硬性を活用した舗装材料で、適量の散水と重機による転圧を行うことで徐々に固化が進み、土系舗装や碎石舗装の代替となる。また固化による防草効果も期待出来でき、維持管理にも適した材料。	新日鐵住金(株)	—

# 平成27年度に提案された技術

番号	技術の名称	技術の概要	提案者	掲載
H27C-1-1	置換式柱状地盤改良工法 「SST工法」	地盤を円柱状に掘削し、地上に排出した掘削土に追加砂とセメント系固化剤を混合して改良土を作成し、独自開発のオーガで締固めながら充填する置換式柱状地盤改良工法。	(株)エスエスティー協会	—
H27C-1-2	マンホール仮設転落防止柵 「孔柵くん」	マンホール昇降時の安全性を高めるとともに、歩行者への注意喚起や転落防止になる、設置撤去が容易なマンホール仮設転落防止柵。	岩田産業(株)	—
H27C-1-3	防汚型車線分離標 「ウェーブポスト」	六角断面構造を有することにより、車両の衝突による反射材破損を軽減できるとともに、反射シート表面に光触媒コーティングを施すことにより、高い防汚性を有する防汚型車線分離標。	エヌティーダブリュー(株)	—
H27C-1-4	シャッター装置不要型 鋼管/鋳鉄管用 「トランジション活管分岐継手」	従来の活管分岐継手を用いたガス管分岐工事の技術を改良し、作業性の向上・工事費の削減を図った既存管の切断が不要な活管分岐継手。	京葉ガス(株)	—
H27C-1-5	天然素材を使用した 「エコ環境基盤」	軽量で保水性に優れた天然素材（火碎流堆積積物）を使用した、屋上緑化などに適した緑化用ブロック。	柳川建設(株)	—
H27C-1-6	下水道管きょの更生 (反転・形成工法)工法 「スルーリング工法」	老朽化した下水道管を非開削で更生・修繕する技術で、地上から挿入した本管構成材を空気圧で加圧し、温水で硬化させて管を形成する工法。	(株)シーシーエス	—
H27C-1-7	下水道管きょの更生 (製管工法)工法 「SWライナーア工法」	老朽化した下水道管を非開削で更生・修繕する技術で、地上から挿入した硬質塩化ビニル製の帯板を既設管内に螺旋状に巻きたて製管する工法。	(株)シーシーエス	—
H27C-1-8	コンクリート二次製品 反転吊上工法 「Tレインサート」	ワンタッチロックつきインサートを用いることで安全な吊上反転を可能とした反転吊具。	京新工業(株)	—
H27C-2-1	コンクリート劣化防止工法 「ファインクリスタル S & TOP工法」	コンクリートの表面に不溶性のガラス物質を浸透させることにより表面部を緻密化させコンクリートの劣化防止をはかる技術で、適用範囲は新設だけではなく既設コンクリートにも使用可能で長寿命化にも有効な工法。	(有)タートル	—
H27C-2-2	長尺塩ビシート用・ 環境配慮型床材剥離機 「Serena-mente(セレナ・メンテ)」	床材などに使用されている長尺塩ビ床材を撤去する際に、従来機と比較し低振動・低騒音を可能とした技術で、粉じん等を最小限に抑えられるなど、周辺環境に配慮している工法。	インテリアいとう(有)	—
H27C-2-3	「高所法面掘削機による掘削工法」	これまで人力で施工していた高所法面の掘削・整形等の作業を機械化(ロッククライミングマシーン)することにより、安全性・施工性を向上させた工法。	大昌建設(株)	—
H27C-2-4	「無足場ロックボルト工法」	高所法面・急傾斜・ダム工事現場等のロックボルト工にて、足場を必要とせず、主アンカーと自走式アンカーロックマシンを主ワイヤーロープで固定し、遠隔操作で作業が出来る工法。	大昌建設(株)	—
H27C-2-5	制震装置 「BOSHIN(ボウシン)」	木造建築物において揺れを抵抗・減衰させ、地震で歪んだ建物を復元して地震から守る。製品はコンパクトなため新築からリフォームまで幅広く取付可能な製品。	(株)アバン設計	—
H27C-2-6	「エンドミルを用いた 金属管高速切断機」	鋼管及び鋳鉄管(内面ライニング管含む)を切断する技術で、従来は応力がかかり切断に時間がかかっていたような箇所でも、エンドミルによりスマーズに切断でき、作業時間も短縮できることから、交通渋滞緩和にもつながる工法。	京葉ガス(株)	—

# 平成26年度に提案された技術

番号	技術の名称	技術の概要	提案者	掲載
H26-1-2	集水型側溝用コンクリート蓋 「アートス」	蓋全面に集水用開孔部を設けることで集水機能を向上させたコンクリート製側溝蓋。 金属製側溝蓋との組み合わせが不要となるため、コスト縮減にもなる。	(株)テラコン	—
H26-1-3	「汚泥搔き機の脱輪抑制装置」	地震時等の揺れに対して高い脱輪抑制効果が見込めるほか、現地プレハブ組立のため取り付けが容易な下水処理場沈殿池等の汚泥かき寄せ機の脱輪抑制装置。	岩田産業(株)	—
H26-1-4	落石防護柵 「高耐食性ワイヤロープ(3×7)」	ガードケーブル、落石柵、落石網等に使用する高耐食性のワイヤロープ。 従来の亜鉛メッキ処理に対して、高耐久性ポリエチレン被覆にすることにより防食性、耐候性を向上させた。	JFEテクノワイヤ(株)	—
H26-1-5	矩形組立マンホール 「I(アイ)ホール」	内径2.5mまでの管に適用できる組立型マンホールで、現場打ち工法に比べ省力化、工期短縮が期待できる。	日本Iホール工業会 (千葉窯業(株)内)	—
H26-1-6	「自転車道対応用函渠型側溝」	路側幅を縮小することにより、限られたスペースでの自転車道の整備優位性を有する函渠型側溝。	千葉窯業(株)	—
H26-1-7	省スペース消音側溝 「SN側溝」	コンクリート蓋に球面支持部及び横ずれ防止キーを設け、車両走行時のガタツキ音を消音する。 また、本体側面を鉛直フラット面としたことにより、省スペース化、施工性の向上が図られる。	千葉窯業(株)	—

# 平成25年度に提案された技術

番号	技術の名称	技術の概要	提案者	掲載
H25-1-1	雑草抑制型コンクリート製品 「ウェーブボウソウ」	端部にウェーブ状の溝を設けることで雑草の繁殖を抑制する道路用側溝。	千葉県 コンクリート 製品協同組合	—
H25-1-2	再生ポリエチレン樹脂製敷板 「スパージュライトシリーズ」	再生ポリエチレンを使用することにより、柔軟で軽く、養生面に良く馴染む施工性に優れた敷板。	京葉興業(株)	—
H25-1-3	「多自然環境ブロック (VCシリーズ)」	河川護岸の養生など自然生態系の保全・復元機能をもつ多孔なコンクリートブロック。	(株)トッコン	—
H25-1-4	「自立型間知ブロック積工法」	背面に正面壁と同等の背面壁を設けたH型形状とすることで裏型枠等が不要となり、施工性と品質が向上されたブロック。	(株)トッコン	—
H25-1-5	コマ型基礎工法 「トップベース工法」	構造物の基礎地盤面にコマ型コンクリートブロックを敷き並べた軟弱地盤改良工法で、沈下抑制効果が大きい。	(株)トッコン	—
H25-1-6	連結ボルト結合による 多自然型大型空積ブロック 「ロボック」	ブロック間の結合に連結ボルトと連結ピンを用いた多自然型大型空積ブロックで、練積ブロック(擁壁)と同等の強度が期待できる。	(株)トッコン	—
H25-1-7	大型練積ブロック 「Vロック」	1.6個/m <sup>2</sup> (通常の約6倍)の規格を持つ大型積みブロックで、法止擁壁や河川護岸の施工性や品質の向上が期待できる。	(株)トッコン	—
H25-1-8	自立型間知ブロック積用 「基礎ブロック」	これまで現場打ちで対応していたものを、コンクリートブロック製品化することにより、施工性が向上し工期の短縮が図られる。	(株)トッコン	—
H25-1-9	かごマット連結材 「Eリング」	従来のかごマット工法において、連結に使用していたコイルをEリングにすることにより、施工性の向上性が図られる。	(株)活充企画	—
H25-1-10	天然繊維油吸着材 「エコパット」	油流出事故の初期対応の油吸着材で、水を一切吸わずに油分のみを吸着する100%天然繊維の環境に配慮した製品。自重の40倍以上の吸着力がある。	(株)活充企画	—
H25-1-11	コンクリート構造物補強工法 「FKパネル工法」	炭素繊維をエポキシ樹脂でフレキシブルボードに内蔵した構造のパネルで、剥落防止効果を発揮するコンクリート構造物補強工法。	(株)道路建設 コンサルタント	—